

正しい勉強のコツ

北進ゼミナール
センター北校

1. 家庭での学習時間

平日（塾のない日）：1 時間 30 分以上、受験生は 4 時間以上
休日：2 時間以上（部活動で 1 日練習であれば、1 時間 30 分）、受験生は 8 時間以上
1 週間：8 時間以上、受験生は 20 時間以上

2. 効率の良い学習、正しい学習をしていますか？

勉強が苦手な子は、できるようになるまでしつこく復習をしていない。完全に忘れて一から勉強し直すと時間がかかる。時間がかかりすぎるから、全ての科目や試験範囲を勉強できなくなって、失敗してしまう。そして、勉強が嫌いになっていく。

逆に、忘れきる前に復習すると学習時間は短くなる。しかも、暗記の訓練をすると、脳の神経が発達して忘れにくくなる。覚えるまで復習するべき回数は人によって違う。しかし、「暗記の訓練」をして勉強時間を減らせば自由時間も増やせるようになる。

【効率のよい暗記法】

- ① 暗記をした翌日か翌々日に、覚えているかテストをする。
絶対に忘れているものがあるので、暗記をし直す。
かける時間は 30 分以内。
- ② 暗記をする時に、すぐに言えたり書けたりするまで同じ部分を何度も繰り返す。
(単語や漢字が覚えられないという子は、うる覚えでやめてしまっている。)
(すぐに答えられる状態になるまで覚えないと、一晚寝たら全て忘れている。)
- ③ 暗記が終わったら、全て答えられるかテストをする。
すぐに答えられなければ、その部分だけ②に戻る。
社会など、漢字で書く必要があるものは書けるように練習する。
- ④ 1 週間に 1 回、その週に暗記や解き直しをしたものを総テストする。
絶対に忘れているものがあるので、暗記や解き直しをする。
(これをやらないと、定期テスト前にもう一度最初から暗記し直すことになる。
そのために、時間がかかり過ぎて、全科目の勉強ができなくなる。)
- ⑤ ダラダラやらずに集中してやる。自分で目標タイムを設定する。

3. 各科目の勉強必勝法

英語

●単語

- ・週1回取り組む。学校でUnitのページが進んだ分、発音・日本語の意味・品詞（名詞・動詞・形容詞・副詞・前置詞）・スペルの順に暗記をする。
- ・塾の授業で扱った単語と熟語で知らなかったもの、忘れていたものも同じようにする。
- ・塾のテスト対策時には、忘れた単語や熟語の復習だけで済むようにする。

●文法

- ・塾の授業で扱った例文と練習問題を覚える。
- ・英文を日本語に訳せる⇒日本語を英文でスラスラ言える、を繰り返す。
- ・最後に紙に書いてテストする。
- ・書けなかった単語は練習とテストを行い、全てできるまで行う。

●リスニング

- ・苦手な子は、単語の練習時に発音を覚えていない子が多い。普段から必ず音読して単語を覚える。
- ・教科書内容に沿ったCD（コロムビア・光村図書）を本屋で買う。すでに習った範囲（単語の発音や意味が分かるページ）で練習する。1回目は本文を見ながら聞き取る。2回目は本文を見ないで聞き取れるか試す。週2〜3回やり続けると効果が出る。

数学

●学校の教科書の章末問題・ワーク・プリント

- ・提出物と考えて復習しない子が多いが、できるまでやり込む。提出日前に慌ててやってもできるまでやり直す時間がないので、毎週習った内容まで進めておく。
- ・テスト前に、1回目に解けなかった問題をまとめて解き直す。

国語

●文法

- ・授業でノートに書いた解き方のコツを先に覚える。
WEBゼミナールの映像授業で解き方を復習する。
- ・授業で扱った練習問題を解き直して、コツを覚えられたか確認する。
- ・テスト前は、学校の文法問題で仕上げる。

●教科書の文章

- ・知らない言葉は、辞書で意味を調べる。
(言葉の意味を学校ノートに書いておけば、成績も上がる。テスト前にも復習できる)
- ・絶対に音読をする。特に、説明文は「段落ごとのまとめ=ポイント」は何かを意識しながら読む。(教科書に線を引いたところか、学校ノートにまとめているはず)
- ・音読を繰り返すと、国語が苦手な子も自然と内容が理解できるようになる。

●漢字

- ・学校の提出物にもなることが多い。普段からやっておく。
- ・週1回～2週に1回やっておく。教科書の新出漢字のページか、学校の教材を使う。
- ・音読み・訓読み・その漢字を使った熟語が言えるようにする。その後、書いて覚える。
(読めない漢字は書けない)
- ・勉強した日、1週間以内に総テストをする。忘れたものだけ復習する。
- ・定期テスト前は、総テストと忘れたものを復習する。
(暗記が苦手な子は別日に2回した方がよい)

理科

●用語

- ・学校の教科書か、学校のノートまたはプリントを使って暗記をする。
- ・「効率の良い暗記法」を参考にして学習する。
- ・実験では、「用具、部品、薬品の名前」「実験の手順」「その実験から何が分かるか」がよく出題される。

●計算問題・グラフなどの読み取り問題

- ・「数学の文章題・図形問題」を参考にして学習する。

●テスト前の注意点

- ・塾で理科を取っている子は、テスト対策冊子と学校のプリントをやり込む。
- ・塾で理科を取っていない子は、学校のプリントか市販問題集で計算問題を解き直す。

社会

●資料の読み取り問題

- ・学校の授業で、「資料から何が分かるか」ということをプリントやノートに書いた部分は絶対に出題される。その部分は定期テスト前に覚える。
- ・学校の授業で、先生が口で説明して終わりにすることがある。その場合は、自分でノートにメモしておく。後で復習ができるようにする。

●歴史

- ・教科書の暗記をする。まずは1Pずつ音読して、太字のみを覚える。
(定期テストの記述問題は、教科書の文章がもとになっていることが多い。音読することで頭に残り、答えやすくなる。)
- ・次に細字の部分。どこを覚えるかは学校のノートで書いた用語を見ればよい。または、どこがテストで聞かれるか自分で予想しながら、暗記をする。
「人物、事件名、部署や役職の名前」などが聞かれる。
- ・事件の順番は、教科書の最後に年表がついている。
- ・戦いや条約を結んだ場所、資料の絵や写真も教科書か資料集で確認する。
- ・暗記の仕方は「効率の良い暗記法」を参考にする。

●地理

- ・やり方は歴史と同じ。
- ・ただし、学校のノートやプリントが詳しい内容なら、そちらを中心に暗記をする。
- ・テストで資料の読み取り問題がよく出る。過去問を塾でみておくこと。
- ・特に、教科書に書かれていない内容をノートで扱った場合、そこが良く出る。